

小平市一般廃棄物処理基本計画の数値目標等（平成 26 年度実績）

1 数値目標（目標値を設定する指標）

(1) 市民一人1日当たりごみ・資源物総量（排出物原単位）

この数値は、市が処理に関与する廃棄物の総量を市民一人1日当たりの量に換算したもので、発生抑制や民間ルートでの再利用（資源物の販売店回収や、リサイクルショップの利用等）の結果として減少します。

本計画の優先課題は、ごみ・資源物ともに発生抑制を図ることであるため、この数値を数値目標として位置づけます。

平成 34 年度（2022 年度）目標値	690 g/人日
平成 26 年度 実績値	748.2 g/人日
平成 25 年度 実績値	765.1 g/人日
26 対 25 増減（率）	△16.9 g/人日（△2.2%）

(2) 市民一人1日当たりごみ量（処理ごみ量原単位）

この数値は、家庭や事業所から排出されるごみ量の合計を市民一人1日当たりの量に換算したもので、3Rの推進により減少します。

ごみの発生抑制とともに資源化品目の拡大と分別の徹底の効果を計る指標となるため、数値目標として位置づけます。

平成 34 年度（2022 年度）目標値	480 g/人日
平成 26 年度 実績値	572.0 g/人日
平成 25 年度 実績値	585.6 g/人日
26 対 25 増減（率）	△13.6 g/人日（△2.3%）

2 毎年度モニター指標（目標値を設定しないが毎年モニターする指標）

(1) 収集ごみ量原単位

収集量には、家庭ごみと合わせて収集する少量排出事業者のごみが含まれているものの、主に家庭ごみの量であることから、家庭ごみの減量動向を見る指標とします。

平成 26 年度 実績値	511.4 g/人日
平成 25 年度 実績値	524.5 g/人日
26 対 25 増減（率）	△13.1 g/人日（△2.5%）

(2) 持込ごみ量

持込ごみ量は、主に事業所から排出され、収集運搬許可業者を通じて小平・村山・大和衛生組合に持ち込まれる量であることから、事業系ごみの減量動向を見る指標とします。

平成 26 年度 実績値	4,145 t/年
平成 25 年度 実績値	4,143 t/年
26 対 25 増減（率）	+2 t/年（+0.0%）

(3) 収集時リサイクル率

この数値は、市で行う資源化量（分別収集量及び集団回収量）が増加することにより上昇するため、資源化の推進や資源物の分別徹底の度合いを測る指標となります。ただし、資源物の発生抑制や民間ルートでの再利用が進展すると、この指標は下降します。このため、この指標の上昇が、必ずしも3Rの推進を計るものではないことから、参考指標としての位置づけとします。

平成26年度 実績値	23.5%
平成25年度 実績値	23.5%
26対25 増減（率）	±0（±0.0%）

(4) 最終処分量

最終処分場に搬入される焼却灰などの量で、3Rの推進や中間処理の能力向上などにより減少する指標です。

平成26年度 実績値	4,777 t
平成25年度 実績値	4,731 t
26対25 増減（率）	+46 t（+1.0%）

(5) 温室効果ガス排出量

廃棄物の処理によって生じる環境負荷を、温室効果ガス排出量によって把握します。（市民一人1日当たり）

平成26年度 実績値	0.26kg/人日
平成25年度 実績値	0.25kg/人日

参考 計画見直し時モニター指標

…平成26年度は算出していません。

(1) 資源物混入率（ごみ組成分析調査による）

ごみに混入して排出される資源物の量を導き出し、分別の度合いを把握する指標とします。

本計画の見直し（中間改訂・改定）の際にごみ組成分析調査を実施し、資源物の混入量を算出します。

(2) 市民満足度（市民アンケート調査による）

計画の見直し（中間改訂・改定）に当たっては、以後の廃棄物の減量等の施策に対する市民の考え方などを調査するほか、その時点での廃棄物行政に対する満足度を調査し、計画見直しの参考とします。

本計画の見直しの際にアンケート調査を実施し、「ごみの収集」、「ごみの減量や処理の情報公開・提供」、「ごみの減量や処理の小平市の取り組み」、「住んでいる地域の清潔さ」について、今回と同様（12ページ参照）に、5点満点で評価します。